

瞳きらきら通信

TEL 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2012

春

vol.4



院長ごあいさつ

東日本大震災から1年余りが経ちました。

おたくなりになられた方々のご冥福を心からお祈りします。今なお住む家や働く場所を失い、また仮設住宅などでまだまだご不自由な暮らしを余儀なくされている被災者の方々が、一日も早く平穏な生活が取り戻せるよう切に願っております。

2月中旬、大学2回生の娘が、6泊7日のボランティア活動参加のため単身で宮城県へ赴きました。大阪駅から夜行バスで12時間かけて仙台入りし、そこから現地ボランティアの車で石巻市へ到着。沿岸部の生々しい惨状を目の当たりにして娘は愕然。休む間もなく仮設住宅の方々がコミュニケーションを深めるための「憩いの家」の資材運びを行ったり、他にも暖房器具配り、家屋の修繕なども手伝ったとか。



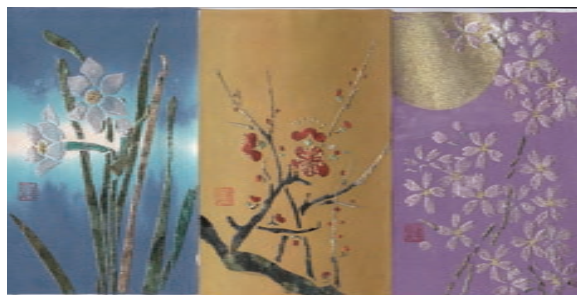
院長 梶川大介

懇談会の機会があり、何もかも失い家族だけは助かったという仮設住宅の会長さんから当時の色々なお話をして貰った娘は、ずっと涙ぐみながら聞いていたそうです。被災者の方々といっぱい触れ合い、その前向きに生きる姿に感動したと言っていました。「来てくれるだけで嬉しい」と会長から言われ、「是非また来ます」と答えた娘。当初、友達と一緒にいくはずでした。友達が急きょ参加が出来なくなっても一人で行動し、自分の思いがブレなかった娘にずっとエールを送り続けてやりたいと思います。親バカか(苦笑)。

趣味イキイキ察々♪♪

患者様のMAさん(89歳)は、数ヶ月前から手削りの綺麗なお葉書を下さるようになりました。お伺いしてみると、これは「金箔工芸」というもので、紙や布地にも自由に描けるので、これなら好きな着物の帯のデザインを自分でもできると思い、30年前頃から習い始められたとか。「自分のペースで出来るのが元気のもと」だそうです。100色もある箔から選び、色々イメージを膨らませるのがワクワクして楽しいと言っておられました。年に1度出展もされ、今年は5月に京都で催される予定です。受付カウンターに飾らせて頂いていますので、ご覧になってください。MAさん、ありがとうございます。

MAさんの作品“金箔工芸”



コラム数珠つなぎ

今回は、受付・河野がお届けします！



暖かいと思えば、突然、雪が舞ったりと、空模様も気温も読めないこの季節。そう、「春」がやって来ました。春と言えば、何と言っても“桜”ですよね。花見のシーズン到来です。毎年、桜の開花予想がテレビで放映されると、なぜかワクワクとして、今年はこの花見にでかけようか?弁当は何にしようかと、そわそわとしてしまいます。本当は、花を見ることも好きですが、それ以上に、たべもの・・・屋台・・・が楽しみで、いろいろと食べ歩きをしてみたい。今年の花見は、以前から行ってみたいと思っていた、一目、千本で有名な吉野桜を眺めに行きたいと思っています。ほかに、耳よりの桜情報があれば、是非、私まで・・・お願いします。

目が小さくなってきた？

そんなことを感じることはないですか？「年だから仕方がない」と諦めておられる方も多いかもしれません。今回は、紙面の都合で加齢が原因のまぶたの病気を2つご紹介させていただきます



ろうじんせいがんけんかすい 老人性眼瞼下垂

眼瞼下垂（がんけんかすい）とは、目を開いたときに上まぶたの端（上眼瞼縁と言います）が正常の位置（つまり角膜(黒目)の上方が少し隠れる高さ）より下がっている状態をいいます。

簡単に言うと、上のまぶたが下がってくる病気です。

《原因》

加齢により眼瞼挙筋と瞼板や皮膚との間の結合が緩んで起こるもので、挙筋機能(まぶたを上げ下げする筋肉の機能)は良好なことがほとんどです。

《症状》

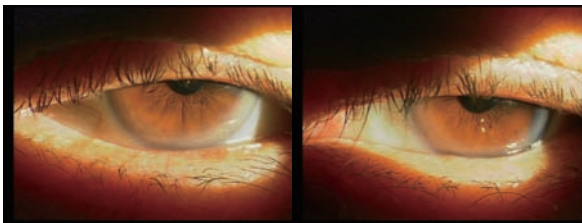
眉を使ってまぶたを持ち上げようとするので、①肩こり、②頭痛、③首が痛い、④まぶたが重い、⑤目の奥が痛い、⑥疲れ目などの症状が現れます。

外見的には、①額のしわが深くなる、②二重まぶたの方は二重の幅が広がる、③目の上が落ち窪む、④見えにくいのであごを上げるなどがあります。

《治療》

治療は手術ですが、ゆるんだ眼瞼挙筋と周囲組織の結合を再構築するように縫合する手技が選択され、回復が見込めます。

ビフォー(手術前)



アフター(手術後)



がんけんひふしかんしょう 眼瞼皮膚弛緩症

眼瞼挙筋の異常はなく、加齢や顔面神経麻痺後によりまぶたの皮膚が緩んで下がってきた状態です。

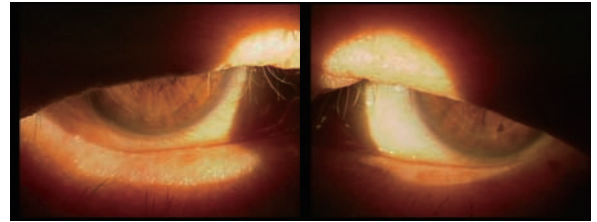
《症状》

緩んで下がってきたまぶたの皮膚はまつげの上のしかかってくるために逆さまつげの状態となり、黒目に傷を作り異物感・充血・流涙などの症状が出ます。また、下がったまぶたの皮膚が視野に影響します。

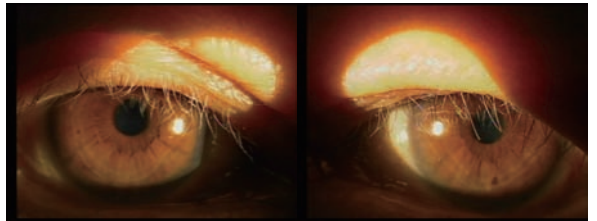
《治療》

余った眼瞼皮膚を切除することで上方の視野が広がり逆さまつげや黒目の傷などが改善できます。

ビフォー(手術前)



アフター(手術後)



参考：
まぶたの断面

